

刊夕日六十二月一



日刊俱日曜日翌  
日休月一ヶ月廿五  
日休月一ヶ月廿五  
日休月一ヶ月廿五

座講識常  
デカタンは類癡的な墮  
落、凋殘等の哀、最初  
はローマ文明の爛熟し  
た末期の墮落時代の人  
々を云つたが十九世紀  
後半フランスに起つた  
所謂世紀末の若き詩人  
の群を呼ぶ語となつた

### 業の好況と物價高に

### 入山炭鑛の増俸給

他鑛に先んじて二十日から  
實施された従業員の歡

### 組合設立の

### 普及講演

石城郡湯本町の入山採炭會社  
は従業員の待遇に改善の策を  
とることにて従來他坑にぬ  
きんじてゐるが炭鑛界の好況  
と諸物價の昂騰に鑑み今回全  
職員並びに坑夫二千九百名に  
對し一割を増給したる二十日  
から之れを實施したので一同  
に喜びを興へてゐる尙ほ今回  
の増給は米價一升三十錢を基  
準としたもので今後更に米價  
が上ればまた其れに應じて値  
上げすることを職員及び坑夫  
一同に述べて居り同坑の原主  
關係は他に見られない剛らか  
さを表はれてゐる

### 四倉市場の蘭取引

### 從來と異ならず

### 關係組合に念達書發送

石城販賣利用組合では産蘭處  
理法の新法實施により取引關  
係發達實行組合と共に改正法  
規に準據する町村に於ける大  
字單位(一組合三十名位、組合  
員多數の場合に數ヶ組合の設  
置を認められる)の方針及び  
特殊の事情あるものは此の限  
りに非ずと則する組合の組織  
變更に努力中であるが尙ほ此  
の法の改正を奇貨として發達  
當業者を迷はしむるものある  
爲め右關係組合に對し近く左

### 萩原氏 鍼灸按摩師會に 金五十圓寄附

### 四十九年間に唯一名の特志

警械城多按摩マツザジ師會  
の採用試験は石城地方の志願  
平支部會は創立四十九年に及  
び明年五十周年を迎ひる記念  
の催に大塚會長外幹部間に考  
て行はれるが申込み者現在  
七十名で事務所管内の總數  
の會員を有する同支部は相互  
に親睦向上の實を上げ郡内他  
支部に範を示してゐるが從來  
町内一般から餘り認めてゐな  
かつた同會に對して今回同町  
萩原申八氏から金五十圓の基  
本金寄附を受けた去る二十三  
日は幹部一同夢かたばかりの  
喜びを以て非常な感激を以て  
之れを納め此の機會をもつて  
益々同會の基礎を固むるに好  
策をとるべく努むることにな  
つたが同會に於て他から寄附  
されたのは五十年に近しい間  
に於て萩原氏一名の由である

### 西村屋から 金二千圓

### 公會堂建設費へ

平町二丁目西村屋舗主鈴木  
新右門氏は昨年秋病死した  
祖父文助翁の慰靈の爲め今回  
平町に建設される公會堂の建  
築費に金二千圓を寄附された  
が町内では富豪豪屋に次ぐ寄  
附額である

### 大浦農倉の 俵米共販

### 十一圓六十六錢

四倉嶺前大浦農倉に於ける  
昨二十五日の俵米共同販賣は  
出荷百三十九俵で額十一圓六

### 百名の採用 志願二千

鐵道備人石城地  
方のみで七〇〇  
水戸事務所に於ける鐵道備人

十六錢、額三十俵は十一圓七  
十錢で取引された相場は前回  
より若干下値である

### 梨代金の不拂ひに 依託詐欺の告訴

### 赤井村の果樹經營者三名で 六百七十四圓余の損害

平町一丁目居住してゐる飛  
田惣一(三三)は石城郡赤井の赤  
井字常任果樹園經營者矢吹欣  
市(三三)同小野三興(四三)同鈴  
木章(三三)の三名から詐欺の告  
訴されて目下取調中である  
が飛田は昨年十一月何れも原  
告等の不在をうかひ梨の販  
賣方を依託されてをると稱し  
矢野方から二百五箱の代金  
二百四十七圓五錢、小野方  
から四十箱四十二圓、鈴木  
方から百二十箱百六十五圓  
を騙取したと言ふに於けるが向  
前記三人は同じく昨年秋東  
京市豊島區西巢鴨四丁目二棟  
原常吉商店へも同人から依託  
販賣の偽電で送つた左記代金  
を受取れずこれに詐欺の告  
訴をなした

### 通帳買ひの 不拂を告訴

十七圓の品代で  
石城郡内郷村の綴字堀坂雜貨  
商伊藤長助(三三)は同村の松本  
義一及び近藤操(三三)の兩名を  
相手取り平署に詐欺の告訴を  
したが松本は昨年八月東川  
郡から現住地に移轉して來た  
が所製品を通帳で買ふに當り  
先住者の近藤を保證人として  
十圓餘の品物をとつたが一  
文も不拂はないので兩人共謀  
したものであると原告側では  
言つてゐる

### 側溝施行陳情

石城郡江名町の江名では側溝  
工事を町町南に約百間を残り  
てゐるので此の施行につき今  
二十六日午前地元の近藤町議  
及び鈴木區長土木監督所に  
出頭して次第を陳情した

### 嫁入道具に 按摩講習

按摩術は近年嫁入道具の一つ  
に数えられて町町の各校では  
警械高女を初め町町訓育院よ  
り講師を招き講習會ある毎に講  
習會を開してゐるが四倉校の

### 小田礦の總會

石城郡好間村の小田礦は日  
本ソノダに身置りをなし日本  
ソノダ礦業部と改稱した  
が来る三十日東京丸の内ソ  
ノダ會社に於て株主總會を開  
き十一年下半期利益配分を  
附議すると

### 眞逆様

平町南町の芹澤自動中業方運  
轉手後藤新(三三)は昨二十五  
日朝同町材木町近藤新太郎  
から頼まれて小野新町に向け  
貸切を飛ばしたが午前九時四  
十分石城郡上小川村の上平  
字小平地内下平橋に差しか  
つた際タイヤのバンクから  
掘を誤つて橋上から自動車諸  
共眞逆様に墜落して乗客の近  
藤に前額部その他へ全治二十  
日間の重傷を負はせたが運轉  
手は奇蹟的にも輕傷も負はな  
かつた

### 富岡特信

最近の某新聞に富岡小学校職  
員が舊曆の忘年會に同町某旗  
亭で豪勢過ぎた遊興の結果支  
拂ひに困り學校關係の取扱ひ  
現金から流用せる爲め其筋の  
内債中であるが如く報ぜられ  
たが全然左様な事實はなく學  
校當局では飛んだ迷惑だと語  
つてゐる、俸給の滞拂に辛ふ  
じて生活の体面を保つてゐる  
小學校教員の何處を押しでも  
そんな勇氣が出やう筈でない  
ことは疑はれもし、假らも  
氣の毒を問違ひを報ぜられた  
ものと云はれてゐる。斯様  
な噂が何處から出たかは知ら  
ないが昨年來保中であつた  
青年團の優勝旗問題も分團の  
相互に諒解がついて圓滿に解

### 山田書記退職

平町役場書記山田職郎氏は去  
る十九日依願退職したので吏  
員一同から記念品を贈ると

### 商業校委員會

平町では今二十六日午後三時  
から町會議事堂に商業學校の  
移轉改訂調査委員會を開催し  
敷地について協議した

### 青果市況

平中央青(厘單位)	果市調	安値
葱(百把)	高値	三〇〇
茶(百把)	高値	三〇〇
人参(百把)	高値	三〇〇
牛蒡(百把)	高値	三〇〇
干大根(十本)	高値	三〇〇
九太根(十本)	高値	三〇〇
里芋(十把)	高値	三〇〇
蓬連草(十把)	高値	三〇〇
白菜(百把)	高値	三〇〇
葱(小把)	高値	三〇〇

